

「クラスター発生を実際に対応して」 総社市保健福祉部次長 兼 長寿介護課長 林 直方

総社市内の高齢者施設での新型コロナのクラスター発生に伴う対応について

【 PCR 検査結果 陽性13名 】

- 入所者 … 6名 (男1名, 女5名) → 6名 / 13名
- 職員 … 5名 (男2名, 女3名) → 5名 / 19名
- 職員家族 … 2名 (男1名, 女1名)

1. 市内の介護施設事業所での感染予防の徹底

- 介護施設事業所との緊急WEB会議で情報共有【10/22】
- 介護施設事業所に向けたWEB研修(第1回)【10/26】
※ 県クラスター対策専門家チームより上山先生(倉敷中央病院)のご協力
- 市内 49 法人,189 施設・事業所で構成する情報・スキルの共有の枠組みとして
「総社市介護保険関係施設事業所ネットワーク」を組織【10/28】
- 組織の発足式、および介護施設事業所に向けWEB研修(第2回)【11/5】
※ 県クラスター対策専門家チームより上山先生(倉敷中央病院)のご協力

2. 保健所の対応に加えた市による支援

- 同居家族が宿泊を希望した場合 ⇒ 宿泊場所の提供【10/22~】
(費用は市が負担)
- 同居家族に不安・症状のある場合 ⇒ 地域の医療機関での診療・検査へ紹介【10/24~】
(費用は市が負担)
- ※ PCR検査は結果が陰性でも感染の可能性がないとは断言できず,結果にかかわらず注意深くチェックしながら感染予防を継続する必要があることに留意。

3. 地域での連携・協議

- 第4回総社市感染症専門家会議(必要な対策を議論)【10/25】
- 吉備医師会役員と市長との懇談(今後の連携を確認)【10/25】
- 地域関係者向け緊急連絡会議(地域での感染予防と人権侵害防止を要請)【10/30】

4. 「グループホーム吉備の里」の再開

- 入所者(陽性・陰性)は,県内複数の医療機関のご協力をいただき入院。陰性入所者の入院は,クラスター対策専門家チームとの協議により決定。今回限りで,施設の再開が条件。
- 11月14日に,「グループホーム吉備の里」の再開(1ユニット9名)と同一法人運営の「ケアホーム清音」(有料老人ホーム)で受け入れを行った。
- グループホーム再開に先立ち,市の対応に加え,クラスター対策専門家チームのご協力により,施設への現場指導を行った。
- 再開が遅れた場合にも備え,岡山県,介護保険関連団体協議会のご協力により,県内の施設で一時的な受入など広域連携による支援体制を取った。